

「海津警察署長 講話」

令和5年4月26日
岐阜県立海津明誠高等学校



生徒感想文一部抜粋

署長講話を聞いて、自転車に関しては左側通行をすること、音楽を聴きながらの運転・信号無視をしないなど、どれも身近なことで命に関わることなので、自転車通行中は気を付けたい。次にSNSについて、SNSは今では身近なものですごく便利なものだけど、よく考えて使用しなければSNSによる炎上で自分の心も傷つき、また周りの人たちにも迷惑をかけることになり、いいことが一つもないので、しっかりと考えて、SNS等を使いたいです。最後に薬物について、周りの人の誘いなどで使用してしまうことが多いと分かったので、自分で断れる勇気を持って薬物を避けたいです。

2年生男子

興味本位や好奇心で「ちょっとだけ」と言って、大麻や覚せい剤に手を出してしまったがために、これからの長い人生を棒に振ってしまうなんて絶対に嫌だなと思いました。たとえどんな人に勧められてもしっかり断れるように固い意志を持ちたいです。また、毎日乗る自転車で、被害者にならないようにすることも大切だけど、何よりも加害者にならないように、運転の仕方をもう一度見直し、安全に乗れるようになりたいと思います。SNSを毎日使うものとして、便利な面は上手く活用しつつ、自分の身の回りの人が危ない目に合わないよう正しい使用を心がけたいです。

2年生女子

4月26日、國枝薫海津警察署長にお越しいただき、「高校生の周りに潜む危険」という演題で、講話を実施しました。國枝署長から薬物乱用防止や交通事故防止、SNSの危険性について説明していただきました。生徒たちは薬物の恐ろしさや高校生が関わった事例を学び、その被害に遭わない知識を高めると共に、生徒自身が自分の身を守ることが大切だと再確認できました。また、自転車事故被害者は他の年代と比較すると高校生が圧倒的に多い事を教えて頂きました。ヘルメット着用は努力義務ですが、この講話を機に、積極的に着用して欲しいです。

署長講話を聞いて、覚せい剤のことは前から知っていたけど、所持しているだけでも犯罪だと初めて知った。田舎では無いと思っていたけど、データを見て、一人でもやっている人はいるんだと感じたので、絶対にしてはいけないことだと思うので、断る勇気を持ちたいと思う。成人年齢が引き下げになって、もうすぐ自分で責任を取らないといけないことになるので、何をするにもよく考え、事件や事故に巻き込まれないように気を付けたい。

3年生男子

講話を聞いて、薬物は1度でも使用してしまうとやめることが難しくなったり依存してしまったりすることを改めて知ることができました。また、そのような薬はネットとかでも売られていたり、薬物の名前が変えられたりしてとても危ないし、知らない人がその薬物を買ってしまったら違反になってしまうし、注意しないとイケないと思いました。またほかにも、SNSなどで知らない人とつながったりして、危ない目に遭ったりするので、自分を大切にしていきたいと思いました。

3年生女子

自転車の事故は高校生が一番多いことを知って驚きました。その中でもヘルメットを着用している人は約1%しかいないという事実を知り、ヘルメットは何のためにあるかを考えてこれから生活したいです。ヘルメットが努力義務化となったことは知っていたけど行動には移せていなかったため、署長の方の話にもあった通り、“みんなで”ヘルメットを着用したいです。また、定期的に自転車の点検もしたいです。私はいつも左側を通行したり、交差点ではしっかりと一時停止を行って安全に走行できているので、これからも引き続きしていきたいです。

1年生女子